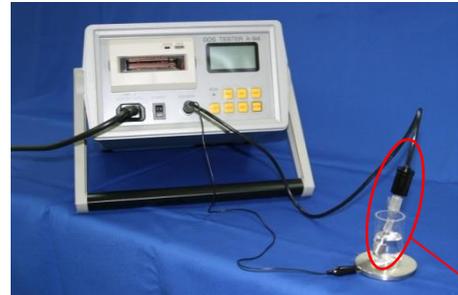


DOSテスターによる鋭敏化度測定

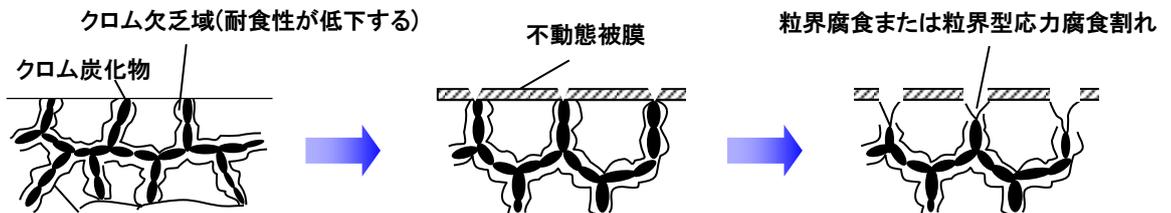


DOSテスター(A-94型)

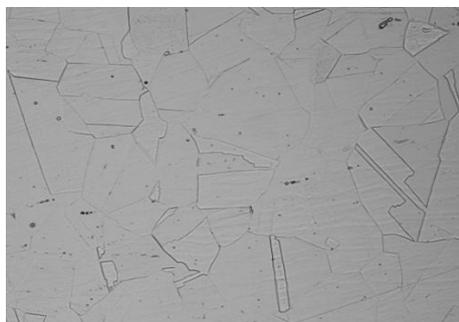


測定状況

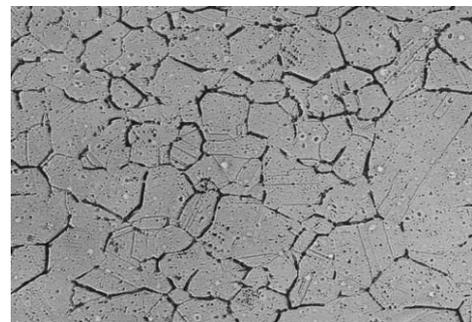
電極



腐食に強いステンレス鋼でも溶接などにより550℃～850℃に加熱されると、金属の結晶粒界に耐食性が劣化する部分(クロム欠乏域)ができることがあります。これを鋭敏化と呼んでいます。鋭敏化が進むと粒界腐食や粒界型応力腐食割れ等の損傷につながり、重大な事故に発展する可能性もあります。鋭敏化度測定器DOSテスターは、テストピースを切り出すことなく、非破壊的にしかも定量的に鋭敏化度を測定することができ、事故を事前に防止する有効な手段となります。



健全な組織(SUS304)



鋭敏化した組織(SUS304)

特長

- 現場で非破壊的に測定可能
- 鋭敏化の程度を定量的に測定可能
- JIS G 0580:2003「ステンレス鋼の電気化学的再活性化率の測定方法」に基づき測定

適用

- 測定可能温度: 7℃～36℃
- 測定可能鋼種: SUS304(304L)、SUS316(316L)、SUS321、SUS347等のオーステナイト系ステンレス鋼